

「マザー・テレサ」 五年 名前）
役割になりきって対談しよう③

司会者

みなさん こんにちは。

今日はテレサさんがした「死を待つ人の家」について
対談したいと思います。

テレサさんは、「死を待つ人の家」を作りましたが、それは、ど
ういうきっかけからですか。

それは、・・・道はたに、やせかけた老婆がたおれていました。
わたしは死んでいると思つて、十字を切つてはなれようとしたとき、
老婆のうでがびくりと動いたです。その老婆をたすけたのが
きっかけです。

司会者

インドでは、老婆のように、たおれたままの人は
めずらしくないではありませんか。なぜ助けたのですか。

テレサ2

そうですね。その老婆が・・・まだ、生きていたからです。
わたしはどんなに死にかかっていようと、少しでも長く生
きていてほしかったのです。

司会者

医者から病院には収容できないと言われたのに、なぜ、引き下
がらなかったのですか。

テレサ3

わたしは、・・・命ある人をみすごすことはできません。
だから引きこめてくれるまで引きこがりませんでした。

司会者

「死を待つ人の家」に運び込まれた人のうち、半分ぐらいの人は
亡くなりましたね。死をむかえるとき、シスター達の手を握
り「ありがとう。」とほほえむのは、なぜでしょうか。

テレサ4

それはですね、・・・死んでいく人たちは「生きていてよか
った」と感じたんだと思います。

司会者

「どうせ助からない人たちにそんなことをしても、むだではな
いか。」と考える人たちがいますが。

テレサ2

その考えは・・・ちがいます。わたしは、だれでも死ぬとき
に「生きていてよかった」と感じてもらいたいです。
人間にとって最も素晴らしいことは、自分はだれからも引用とこ
れていないんだと感ぜることなのです。

司会者

「死を待つ人の家」のことがよくわかりました。今日は、あり
がとうございました。